

工事監理状況報告書(鉄骨造)

令和元年5月1日作成 高崎市

中間検査

(あて先) 建築主事令和 年 月 日

確認済証番号	令和	年	月	日	第	号	確認機関名
" (変更)	令和	年	月	日	第	号	確認機関名
工事場所	建築主 氏名						

上記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	工事監理者	会社住所	
		会社名	
		報告者名	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
		A:目視		
		B:計測		
		C:その他		
1 確認表示板 (法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適 : 不適	
2 工事現場の危害の防止 (90条)	1 仮囲い、防護ネット、山留	A	適 : 不適	
3 敷地の衛生及び安全 (法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A : B : C	適 : 不適	
4 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	A : B : C	適 : 不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	A : B : C	適 : 不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A : B : C	適 : 不適	
	4 2項道路の後退	A : B : C	適 : 不適	
5 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52～54)	1 敷地形状及び高低差	A : B : C	適 : 不適	
	2 基礎形状・建物形状	A : B : C	適 : 不適	
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	A : B : C	適 : 不適	
6 斜線制限 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A : B : C	適 : 不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A : B : C	適 : 不適	
7 基礎・地盤(令38、79、告示1347)	設計図書通りの地耐力が得られたか	A : B : C	適 : 不適	
	1 確認方法 ()			
	地耐力が得られなかった場合の措置について	A : B : C	適 : 不適	
	2 措置の内容()			
	3 杭種・工法・打設結果の確認	A : B : C	適 : 不適	
	4 径、長さ、本数	A : B : C	適 : 不適	
	5 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	A : B : C	適 : 不適	
	6 杭頭処理	A : B : C	適 : 不適	
	7 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	A : B : C	適 : 不適	
	8 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	A : B : C	適 : 不適	
	9 主筋の定着	A : B : C	適 : 不適	
	10 継手の位置 (接合方法:)	A : B : C	適 : 不適	
	11 継手試験方法・結果 ☐ 引張り ☐ 超音波	A : B : C	適 : 不適	
	12 梁貫通補強	A : B : C	適 : 不適	
	13 コンクリートの品質・規格	A : B : C	適 : 不適	
8 上部構造 (令66、67、68) (告示1456) (告示1464)	建築物全体	A : B : C	適 : 不適	
	部材の配置			
	部材の仕様			
	部材の仕様			
	部材の仕様			
	部材の仕様			
	部材の仕様			
	7 ホルトの縁端距離	A : B : C	適 : 不適	

確認事項		確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
			A:目視		
			B:計測		
			C:その他		
8 上部構造 (令66、67、68) (告示1456) (告示1464)	柱脚の施工 状況	8 柱とベースプレートの溶接	A : B : C	適 : 不適	
		9 ベースプレートの寸法	A : B : C	適 : 不適	
		10 アンカーボルトの径、長さ、位置、二重ナット	A : B : C	適 : 不適	
		11 ベースプレート下モルタル充填	A : B : C	適 : 不適	
		12 脚部の根巻き・埋込み	A : B : C	適 : 不適	
	柱・梁の仕口 部	13 突合せ溶接の位置、状況	A : B : C	適 : 不適	
		14 ダイヤフラムとフランジの位置、状況	A : B : C	適 : 不適	
		15 スカップ、エントップ、裏当て金の確認	A : B : C	適 : 不適	
		梁接合部	16 HTBの径、本数、添え板厚	A : B : C	適 : 不適
	17 ヒンテールの破断(トルシア型)		A : B : C	適 : 不適	
	18 マーキングのずれ(全てのHTB)		A : B : C	適 : 不適	
	19 高力六角ボルトの締付け(JIS型)		A : B : C	適 : 不適	
	20 摩擦面の処理		A : B : C	適 : 不適	
	その他 (令79の3)	21 溶接部の検査結果	A : B : C	適 : 不適	
		22 床の仕様、接合方法	A : B : C	適 : 不適	
		23 プレースの接合部、たわみ	A : B : C	適 : 不適	
		24 梁 等貫通個所の位置、補強	A : B : C	適 : 不適	
		25 さび止め塗装	A : B : C	適 : 不適	
		26 コンクリートのかぶり厚さ(SRC)	A : B : C	適 : 不適	
	9 その他		A : B : C	適 : 不適	
	※3		A : B : C	適 : 不適	
			A : B : C	適 : 不適	
			A : B : C	適 : 不適	

※4 その他の 照合方法	

検査に 必要な 図書	確認関係図書	■ 確認図書 ■ 告示第1347号による基礎構造図
	使用材料の品質を示す書類	☐ コンクリート圧縮強度試験結果 ☐ コンクリートの品質(スランプ、空気量、塩化物)
		☐ 鉄筋・鉄骨ミルシート ☐ 使用材料品質証明書
	工事監理報告関係	■ 基礎配筋検査記録・写真 ☐ 自主検査報告書
		☐ 施工要領書 ■ コンクリート工事施工結果報告書 ■ 鉄骨工事施工結果報告書
	検査結果報告書	☐ 杭工事施工結果報告書 ■ 溶接部検査結果報告書 ☐ 鉄骨精度測定結果
※5		☐ 露出型柱脚施工管理報告書
	その他	☐ 認定・評定書の写し ■ 工事写真 ☐ その他

※1 照合方法は、A : B : Cに○印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないで下さい)

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「その他」の欄に記入して下さい。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 検査に必要な図書について、「■」の書類は必ず用意し、「□」は監理状況が確認できれば、それに代わる書類等でも可とします。